

福浜議員要望項目一覧

令和7年度12月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
1 「広域リージョン連携」の推進を 政府が進める広域リージョン連携の候補地に、本県が関わる関西広域と中国地方がピックアップされています。関西広域では企業の研究開発支援、中国地方ではインバウンド向けのコンテンツ開発等をメインに取組を進めていますが、農水産物輸出やスタートアップなども国支援の項目に挙がっており、広域連携で取り組む内容を幅広く検討するよう要望します。	広域リージョン連携の推進に向けて、中国5県の知事及び経済界代表で組織する中国地域発展推進会議において「中国地域広域リージョン連携宣言」を行うとともに、本県も加盟する関西広域連合においても関西経済連合会等の民間団体と共同で「関西広域リージョン連携宣言」を行ったところである。 今後、国から示される予定である具体的な支援策等を踏まえつつ、地域の成長や地域課題の解決につながる具体的なプロジェクトを検討し、都道府県域を超えた官民が一体となって実行していく。
2 高齢者用の住居整備を 独居高齢者や高齢夫婦の中には、生活に不安を感じる方も少なくありません。しかし、転居先は公営住宅も民間住宅も「アパート型」が多く、高齢者に優しい住まいとは言えません。そこで、民間の住宅メーカー等と協議して、平屋で長屋風の高齢者同士が集える住宅を整備してはと考えます。モデルは奈良県十津川村が整備している高齢者住宅「高森のいえ」。長屋が屋根付き回廊で結ばれ、軒下にベンチが配置されて日々、高齢者同士の団欒の場になっています。 コンパクトなまちづくりを緩やかに進めていく上でも意味がある方策であり、本県でも市町村と情報共有しながらの検討を要望します。	県営住宅は、セーフティネットとして住宅困窮度の高い方が優先的に入居できる優先入居制度を実施しており、限られた敷地の中で一定の住戸数を確保できるアパート型を維持していく必要があるが、団地内の集会所等の共同施設の整備にあたっては入居者のコミュニティ形成に寄与する工夫を検討する。 一方で中山間地域の市町村においては、市町村営住宅を核として高齢化に対応したコンパクトなまちづくりや地域コミュニティの形成に寄与する住宅整備手法も考えられることから、県及び市町村で公営住宅の整備及び管理について協議する「地域住宅協議会」で情報提供していくとともに、市町村で整備を検討する場合には、県は技術支援を行っていく。
3 障がい者グループホームの外国人雇用に助成を 「親なき後」の障がい者の受け皿としてグループホームが注目されていますが、人手不足で増やそうにも増やせない現状にあります。現場では介護施設と同様に、外国人を雇用する場合の補助を求める声があり、検討を要望します。	グループホームを含む障がい福祉サービスを提供する多くの事業所で人材確保が困難な状況であることはお聞きしているところであり、支援制度創設のご要望もいただいている。令和8年度当初予算に向け、介護施設における支援制度と同様に、外国人を雇用する場合の補助制度も含め、障がい福祉サービス事業所における人材確保・定着のための支援制度を検討する。
4 児童養護施設の働き方改革推進 24時間365日児童と関わる、児相を含めた児童養護関連施設の職員負担軽減を図るため、引継ぎで必要な「会話記録」にAIを導入するなど、県施設で新技術導入を積極的に試行実施し、民間波及に繋げるよう要望します。	今年度から米子児童相談所において、県庁DX推進の一環として新たに導入された秘匿性の高い会話をAI技術でテキスト化する議事録作成支援システムについて児童相談所業務での有用性を検証している。児童相談所業務での有用性が確認された際は、中央児童相談所や倉吉児童相談所での活用はもとより、民間の児童養護施設等に対しても県の取組を紹介し、国の補助金も活用しながら、AIによる業務効率化等について施設側とも一緒に検討する。

要望項目	左に対する対応方針等
5 グラウンドゴルフ 国スポ代替の全国大会を「毎年」本県で開催を本県はグラウンドゴルフ発祥地で、2年後のワールドマスタースゲームズの開催地にもなっていますが、国スポでのグラウンドゴルフ(公開競技)は、令和9年の第81回大会から第85回大会まで「中止」と決定されました。その国スポに代わる全国大会を毎年、鳥取県で開催できないか、検討を要望します。因みに国スポでは、47都道府県から12名ずつ、総勢550人を超える選手が集うため、経済効果も高いと考えます。	グラウンド・ゴルフは、湯梨浜町グラウンド・ゴルフ協会が主催する発祥地大会や国際大会など、グラウンド・ゴルフの聖地鳥取県のPRに資する大規模な大会を毎年開催しており、全国のみならず世界中から競技者が参加している。 国スポの代替大会の本県での開催については、日本グラウンド・ゴルフ協会及び鳥取県グラウンド・ゴルフ協会等のご意見を聞きながら、大会としての位置付け等を含め検討を進めてまいりたい。
6 文化芸術分野でも「知事表彰」を 本県では、国スポや国際大会等で顕著な成績をあげた選手を「知事表彰」する制度がありますが、文化芸術分野では、長年の功績を称える「文化功労者表彰」、高校総合文化祭等で優秀な成績を挙げた児童生徒を称える「教育長表彰」しかありません。文化芸術分野にもスポーツと同趣旨の「知事表彰」を創設するよう要望します。	令和4年度から文化芸術分野の新たな知事表彰制度として「鳥取県文化奨励賞」を設け、優れた業績・活動が認められる概ね40歳以下の者を表彰し、将来性ある活動者を称え、今後のさらなる飛躍を後押ししているほか、「鳥取県美術展覧会」等における知事表彰をはじめ、文化芸術団体が主催する様々な大会等における知事賞の授与も行っているところである。 これらに加え、コンクール等で顕著な成績をあげた者への知事表彰制度の創設について、関係団体等の意見も聞きながら検討していきたい。
7 高校魅力化 コーディネーターの増員を 本県でも、県外生徒の募集や地域との連携強化の窓口としてコーディネーターを配置する高校があり成果をあげていますが、コーディネーターがいる高校は限定的です。各高校の魅力化を強化するため、コーディネーター増員の検討を要望します。	各県立高校においては、地元自治体と連携しながら魅力化の取組を推進しており、一部市町が配置している魅力化コーディネーターにより、取組の強化が進められているほか、令和6年度からは、県において統括コーディネーターを2名配置し、県外生徒募集活動や情報発信の支援を行っている。 なお、中山間地域の県立高校立地自治体5町と鳥取県及び鳥取県教育委員会が令和7年4月28日に締結した連携協定に基づき、各市町が配置する魅力化コーディネーターの配置にあたっては、配置に要する経費の一部を支援しているところである。 また、コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、地域の方の力を借りて教育活動を行い、その活動を学校の魅力として情報発信している事例もあり、そのような事例をさらに広げていくなど、引き続き、各自治体や高校の意見を伺いながら、それぞれの地域に応じた魅力化の取組を連携して推進していく。

要望項目	左に対する対応方針等
8 学習用タブレットに盗撮防止アプリを 学校現場での盗撮は、事件化した教員グループのほか、児童生徒による盗撮も各地で発生しています。愛知県日進市では今年9月から、市内全ての小中学生と教員のタブレットに、「わいせつ画像をAIで検知」するアプリ（コドマモ for School）を導入しました。性的自撮りや盗撮画像・動画を検知すると、AIが削除を促すと同時に、学校と市教委に検出内容と持ち主が通知（画像自体は非通知）される仕組みになっています。 昨今、本県の教育現場でも盗撮防止のため、学校備品のデジカメのみ撮影可としている所もあり、本県でもアプリ導入について、市町村と情報共有し検討するよう要望します。	昨今の全国の学校における盗撮事案を踏まえ、令和7年7月に、県教育委員会から市町村教育委員会に対し、児童生徒性暴力等の防止等に関する教育職員の服務規律確保のため、教師個人のスマートフォン等の私的な端末で児童生徒等を撮影しないこと等の具体的な取組の実施と徹底を求めている。 また、教育センターでは、今年度「善きICTの使い手となる ～デジタルシティズンシップ～」研修を実施するなど、教員自身の情報モラルやリテラシーの向上と、児童生徒に対する指導力向上を図るための取組を行っている。 加えて、今回要望のあった学習者用端末及び指導者用端末におけるカメラ機能等に対する盗撮防止アプリの機能や導入・運用方法については、市町村教育委員会とも情報共有を図りながら研究していく。